

民泊の鍵 スマホで解錠

の鍵子錠の
リユセ

無料アプリ提供開始

オートロック電子錠メーカーのセリユール(東京都中央区、長島理恵社長)は、民泊の鍵をスマートフォンで解錠できる無料アプリの提供を始めた。玄関ドアに後付けできる同社電池式オートロック錠「DECI-MEL(スマートフォンモデル)」に対応する。

キーを受け取り、予約した日時に鍵を開けることができる。民泊運営でも煩雑な作業となる物理的な鍵の受け渡しが必要となり、業務を効率化が可能となる。対応OSはAndroid 4.3以上とiOS 8.4以上。

相続物件売却サポート

建設コンサルタンの(徳田孝司理事長)は、オオバと辻・本郷税理士事務所(東京都新宿区、伴って不動産売却を検討する人に、不動産売却と相続コンサルティングサポート)を開始した。相続に

大家の6割超が不安

将来の空室と家賃下落

賃貸オーナー向け情報誌「オーナーズ・スタイル」が行ったアンケート調査によると、6割を超えるオーナーが将来に不安を感じていることがわかった。

「30・2%を占めた。今のままで順調だと思えるのは4・9%にとどまり、9割を超すオーナーが改善策を必要と捉えていた。現在・将来の不安要因

のうち、半数を超えたのは「空室」(60・4%)と「家賃の下落」(55・5%)だった。以下、上位5位には「物件の老朽化」(43・6%)、「外壁・屋根の補修などの大規模修繕」(42・1%)、「リフォーム・リノベーション」(28・2%)が挙げられた。

調査は15年12月に同誌首都圏版・関西版の読者1000人を対象に実施

し、約8割の有効回答を得た。回答者は東京・神奈川・千葉・埼玉・大阪・京都で賃貸アパートか賃貸マンションを平均2・4棟(約20室)を所有。年代は60代が33%、50代が27%、40代が18%、70代が15%。家賃収入は100万円未満が51%、100万円台が25%、200万円以上が24%だった。

無料コンサル実施

家賃減額リスクに対応

国土交通省が同日付けで、家賃減額リスクの説明を義務化する制度改正したことなどから実施する。

家賃などを調査。具体的な対策や賃貸管理会社の選定、メンテナンスの方法などをアドバイスする。

コンサルティングは対面、電話、メールで受け付ける。問い合わせ、申し込みは同機構(電話03・5791・1300)まで。

現在の賃貸経営の問題や空室原因を追究し、需要まで。

講演会のご案内

本紙読者ご招待

第69回新聞週間は10月15日から1週間にわたり全国的に行われます。この新聞週間期間中に本紙加盟の公益社団法人日本専門新聞協会では、「日本専門新聞大会フェスティバル」の第1部として「時局講演会」を開催いたします。「時局講演会」には読者の皆様もご参加いただけますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成28年10月17日(月曜日) 午後3時30分～同5時(3時受付開始)
開催場所 帝国ホテル 2階「孔雀東」の間(東京都千代田区千代田1-1-1)
開催内容 「時局講演会」
講師 毎日新聞社 特別編集委員 岸井 成格 氏
テーマ「政局と報道の自由」
申込方法 下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて10月6日までに申込み下さい。折返しFAXで参加券をお送りいたします。
募集人員 先着400名様(参加無料)※募集人員に達しましたら締め切らせていただきます。
申込先 公益社団法人日本専門新聞協会 FAX 03-3508-8888・TEL 03-3597-8881

氏名	年齢
電話	FAX
会社名 又は 団体名	
本紙 新聞名	

週刊住宅新聞

グッドシェアーズ 女性専用シェア 月2回セミナー

シェアハウスの企画・運営を手掛けるグッドシェアーズ(東京都港区、小田勝久社長)は女性専用シェアハウス投資セミナーを始めた。毎月第1、3土曜日に開催する。同社は「老後の生活費を今から貯蓄しておきたい働き盛りのサラリーマン向けに開催しており、30、40代のサラリーマンを中心に毎回定員を超える参加がある」としている。同社は20、30代向けシェアハウスを販売しており、セミナーでは固定資産税や保費、修繕費用などを踏まえた経営コミュニケーションを説明する。東京・芝浦の同社セミナールームで13時から。無料、定員10人。

3土曜日に開催する。同社は「老後の生活費を今から貯蓄しておきたい働き盛りのサラリーマン向けに開催しており、30、40代のサラリーマンを中心に毎回定員を超える参加がある」としている。同社は20、30代向けシェアハウスを販売しており、セミナーでは固定資産税や保費、修繕費用などを踏まえた経営コミュニケーションを説明する。東京・芝浦の同社セミナールームで13時から。無料、定員10人。